

令和6年度 授業改善推進プラン 社会科

1 「大田区学習効果測定」結果の分析

- 学年によって、目標値を下回る領域が異なる。
- ・ 4年生は、「四方位」「安全な暮らし」「暮らしの移り変わり」の問題が目標値に達していない。
- ・ 5年生は「都道府県の様子」「自然災害から暮らしを守る（地震）」「先人の働き」「特色ある地域の様子」の問題が目標値に達していない。
- ・ 6年生は、「日本の食料生産」「日本の国土と人々の暮らし」「情報を生かした産業」「自動車をつくる工業」の問題が目標値に達していない。

2 課題点

- ・ 資料やグラフに着目して、読み取りをしたり関連性についての考察をしたりすることに大きな課題がある。
- ・ 地図記号や都道府県の名称、国の名前など基本的な用語の理解に課題がある。

3 授業改善策

- ① 資料を読み取る力を身に付け、考察する力を高める学習活動の工夫
グラフや表などの資料を活用して調べる活動を多く取り入れる。資料の読み取りが正しくできるよう、資料の見方や捉え方を第3学年の時から続けて指導する。また、考察の視点を与え、それに沿って考察したり、ICTなどを活用し、多くの意見を共有させたりして考えたことを表現させる活動をたくさん取り入れる。
- ② 基本的な用語の活用
社会科の基本的な用語を覚えられるように歌や語呂合わせ、クイズ形式などで慣れ親しみ、ミニテストやWEBドリルなどを使って反復練習する。また、本校の社会科検定の機会を生かして、反復学習を意図的に行う。